

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020年 6月 20日作成 第 1 版

研究課題名	当院で腹腔鏡補助下造脛術を行った症例の検討
研究の対象	2015年4月1日から2020年3月31日までの期間に当院で先天性脛欠損症に対し、腹腔鏡補助下造脛術を行った患者さん
研究目的 ・方法	先天性脛欠損症では、機能性子宮を持つ場合は月経血が貯留や逆流することを防ぐため、機能性子宮がない場合でも性交障害を改善するために腹腔鏡補助下造脛術が行われます。術後は新生脛の再狭窄を予防するための長期的な自己管理や定期的な婦人科診察が必要となり、再狭窄をきたした場合は再手術が必要になることもあります。思春期に手術が必要になることもあり、ご本人の身体的・精神的負担も大きいことが予測されます。当院でこれまでに上記手術を行った診療録を後方視的に検討し、患者さんに応じたより良い管理方法を検討します。
研究期間	西暦 2020年 9月 2日（承認日）～ 西暦 2022年 6月 30日
研究に用いる 試料・情報 の種類	診断名、手術時の年齢、術式、2020年6月30日までの術後経過などを診療録から抽出します。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 婦人科（研究責任者）大沼 えみ 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-242-2275</p>	